

2011 年度事業計画

自 2011年4月 1日
至 2012年3月31日

特定非営利活動法人エフアジヤパン

東京都千代田区四番町四 日本染色会館三階

2011 年度海外事業計画

1. ベトナム

子どもの家支援事業

栃木県本部の職員処遇状況改善支援事業は 5 月で終了する。

保護児童の生活支援と職員および講師への給与・賞与の補填は、自己資金で継続する。

子どもの家を養護施設ではなく、ハイフォン市全体の児童福祉サービス機関に変える計画は、ハイフォン市人民委員会の承認待ち。開設後に、今後の支援を自治労本部と共に検討する。

アジア子どもの家奨学金基金

過去の実態調査を行い、基金の増額を検討する。

障がい児教室活動支援

前年度に活動資金を提供した 5 教室の結果を評価して、今後の支援を検討する。

商品開発

子どもの家が児童福祉サービス機関になった後、布袋やエファグズの製作を継続するかは検討を要する。

その他

4 月 1 日に、ベトナムとラオス事業を担当するベトナム駐在員を派遣。ハイフォンに駐在し、事務所開設の手続きを始める。

ベトナム人調整員との契約は、少なくとも 6 カ月は継続する。

2. ラオス

ヴィエンチャン市立図書館支援事業

前年度と同じレベルで、運営費や備品、図書を支援する。

コミュニティ図書館などへの支援

既に開設したコミュニティ図書館、図書室、図書コーナーのモニタリングを実施し、必要に応じて支援する。

今年度は、新規開設は行わない。

ラオス図書館協会への支援

設立はされたが実態がないラオス図書館協会の事務所開設およびその後の運営を支援する。

図書館協会がヴィエンチャン市立図書館やコミュニティ図書館の監督・指導ができるように協力する。

地方子ども文化センター（CCC）支援事業

- ・カムワン県、シェンクワン県 CCC
大分県本部の支援金の残金で支援を継続する。
- ・セコン県 CCC
モニタリングを行い、必要に応じて支援する。
- ・ルアンパバン CCC
主に郡の CCC を対象に佐賀県本部による 2 年目の支援を実施。

ドンコイ子ども発達センター（民間の CCC）

スタディツアーの交流先として活用する。必要に応じて支援。

ラオス駐在員事務所

ラオス駐在員が 4 月 5 日付けで退職したため、5 月末で駐在員事務所を閉鎖。その後は、事務所再開に備え、書類や備品は市立図書館で保管。

3. カンボジア

子どもの家（幼稚園教員養成学校および附属幼稚園）への奨学金

2011 年度の奨学金事業では、園児 30 名と訓練生 25 名に月 25 ドルを 10 カ月間支給する。
退職された保育士で元自治労組合員の荒川智子さんのボランティア活動を資金援助する。
書き損じ葉書による支援として、訓練生の交通手段となる自転車を更に 50 台寄贈する。

スラムの子どもの教育支援（カンボジアの NGO、SCADP との共同事業）

今まで支援してきたプノンペン市内 3 カ所の寺子屋教室に加え、カンダール県の村の寺子屋教室を新たに支援する。

SCADP 児童保護施設

保護児童の日常的な衛生管理を含む食習慣改善活動を進展させる。

その他

6 月に、カンボジアとタイ事業を担当するカンボジア駐在員を派遣。プノンペンに駐在し、カンボジアでの NGO 登録手続きを始める。

SCADP 事務所の 1 室を借りて、エファの駐在員事務所とする。

4. タイ

FTUB（ビルマ労働組合連盟）が運営するビルマ（ミャンマー）からの移住労働者子弟の教育機関パラミ・ラーニングセンターにおける就学前教育支援を大阪府本部と共同で実施する。

以上

2011 年度国内事業計画

1. 組織拡大

- ・自治労県本部や単組への働きかけを継続的に行ない、会員・エファパートナーの加入拡大につとめる。新規加入促進だけでなく、継続のためのフォローアップにも力を入れる。
- ・昨年度に引き続き、書き損じはがきの収集活動を積極的に展開し、自治労県本部・単組を通じて広く組合員に参加を呼びかける。
- ・地連へのアプローチを試みる。

2. 集会・イベント

- ・自治労中央委員会（5月）にブースを出展し、パネル展示による活動紹介やTシャツ販売を行なう。Tシャツの売り上げは、全額を自治労本部「災害特別カンパ」に寄付する。
- ・自治労定期大会（8月）にブースを出展し、パネル展示による活動紹介やグッズ販売を行なう。
- ・組合、他団体主催の集会・イベントへの展示パネルの貸出しを行なう。

3. 学習会

- ・主に自治労組合員を対象に、子どもの権利に関連した学習会を開催する。

4. 出版

- ・子どもすこやかサポートネット編著『子どもに対する暴力のない社会をめざして』出版助成。

5. ネットワーキング

- ・エファジャパンの理念に合致する社会的ネットワークに参加し、他 NGO 団体、労組等との連携強化をはかる。
 - ・子どもすこやかサポートネット（団体正会員・継続）
 - ・児童労働ネットワーク（CL-Net）（団体正会員・継続）
 - ・国際協力 NGO センター（JANIC）（正会員・継続）
 - ・NGO－労働組合国際協働フォーラム（会員団体・継続）
 - ・平和運動との連携

以上

2011 年度広報事業・その他計画

1. 広報活動

(1) 2010 年度から継続（実施内容を変更しないもの）

- ・年次報告書の作成（2010 年度年次報告書／年 1 回）
- ・広報誌「えんばわ」の発行（年 4 回）
- ・メールマガジンエファ通信の発行（月 1 回～）
- ・自治労プレスリリース（月 1 回程度）
- ・エファジャパンパンフレット印刷
- ・エファジャパンHP
- ・展示パネルは必要に応じて内容を更新
- ・自治労通信裏面広告（隔号掲載）
- ・ミクシィ（mixi）等各種インターネットサイトのページ更新

(2) 2011 年度終了・減少するもの

- ・自治労通信記事連載（新連載未定）
- ・エファグッズカタログ廃止（ラオスからのグッズの導入とオンラインショッピングの開始により）

2. ボランティア

- ・エファボラデー（月 1 回）
- ・年に 2 回ボランティア交流会を実施

3. 未使用切手・ハガキ収集

- ・通年実施
- ・協力いただける県本部へハガキ回収箱を配布。単組・職場での設置・回収をお願いする。

4. 外部企業等との提携による募金・寄付活動

- ・全て継続（ハイム化粧品、Yahoo!募金、JANIC、イーココロ、プレコラ）

5. インターン

今年度は通年（4 月～3 月）で 1 名採用

以上